

くらつき こ やくそく 鞍月っ子の約束

2024^{ねんど}年度

ひとりひとり まも たの がっこうせいかつ おく
一人一人がきまりを守り、みんなが楽しい学校生活を送れるようにしましょう。

とうげこう

1. 登下校

- 午前7:40～8:10までに歩いて登校します。
- 見守り隊や近所の方に、自分から明るくはつきりとあいさつをします。
- 交通ルールを守り、通学路を通ります。
- 忘れ物は家に取りに帰りません。
- 午後4:00までに学校を出ます。(行事などの関係でかわることもあります。)
- 欠席や遅刻の時は、Googleフォームや連絡帳で担任まで連絡します。
- 下校後は、忘れ物を取りに学校へ来ません。



2. 休み時間

- 10分休みは、遊びません。次の時間の準備と水飲み、お手洗いをしてすごします。
- 長休みは、次の学習の用意をしてから遊びます。
- ろう下や階段は静かに歩き、遊びません。
- 教室やろう下で、ボール遊び、体を使ったふざけあいなどの危ない遊びをしません。
- 学習の始まりの時刻を守ります。
- 特別教室・体育館ステージ・駐車場・ベランダでは遊びません。

3. 清掃時間

- 掃除場所には遅れずに行き、来た人から掃除を始めましょう。
- 用具はていねいに使い、後始末をきちんとします。
- 上着とスカートをぬいで、シャツはズボンに入れて清掃をします。
- ぞうきんはバケツの水で洗い、その水は深いところにすてます。
- 掃除は、無言で行います。

4. 持ち物

- 全ての持ち物に名前を書き、下のものには学年カラーをつけます。
(体操服、体操袋、赤白帽、内ばきズック、ぞうきん。)
- ハンカチ、ティッシュは毎日持ってきます。
- えんぴつは毎日家でけずります。赤青えんぴつを使います。(シャープペン、ボールペンは使いません。)
- 学習に必要なのない物は持ってきません。
- 筆箱やランドセルにはキーホルダーなど必要なないかざりはつけません。
- 集中して勉強に取り組めるように、学習用具はシンプルな物を使用します。(詳しくは裏面参照。)

5. 服装

服装のきまり

基本の服装

(例)



- 上
- 標準服(えり付き、白無地のシャツ・ブラウス)を着用し、シャツは出しません。
(体調に合わせてベスト・カーティガン・セーターや標準服の長ズボンを着用してもよいです。)
 - 登下校には黄色い安全帽をかぶります。
 - 前髪は自にかからないようにします。肩より長い髪はゴムで結びます。
(黒、紺、茶などの華美でないゴムを使います。)
 - 名札をつけます。
 - 下着(シャツ)…白色、ベージュ、黒などの華美でない無地のものとします。

下

- くつ下…原則式典時は白の無地、通常は白、黒、紺の無地(ワンポイント可)とします。
- タイツ等の色は白・黒・紺・グレーの無地とします。
- ズック…内ばきは白、通学用ズックの色は自由。かかとはふみません。(運動しやすいもので、かかとも学年カラーと名前を書きます。)

体操服

上



- 白のトレーニングシャツ・赤白帽(ゴムのあごひも)
(体調に合わせて長袖体操服を着用してもよいです。)
- 水泳時には、スクール水着または競泳用水着を着用します。ラッシュガードを着用する場合は、フードがないものにしましょう。

下

- クォーターパンツを着用します。
(体調に合わせてトレーニング用長ズボンを着用してもよいです。)

冬の服装



基本の服装(冬)

(例)



- 上
- 標準服(えり付き、白無地のシャツ・ブラウス)を着用し、シャツを入れ、名前をつけます。
 - 上着の下に、ベスト・カーティガン・セーターを着用してもよいです。
(白・黒・紺・グレーなどの無地で、袖や裾が上着から出ないもの)
 - ジャンパーを着用するときには、前をしっかりとめます。
 - ゴムのついた安全帽を着用します。

下

- 標準服の長ズボンを着用してもよいです。
- スカート・ズボンの下にスパッツ・タイツを着用してもよいです。
(白・黒・紺・グレーなどの無地)
- スパッツを着用するときには、靴下との間が開かないような長さのものにします。

体操服(冬)

(例)



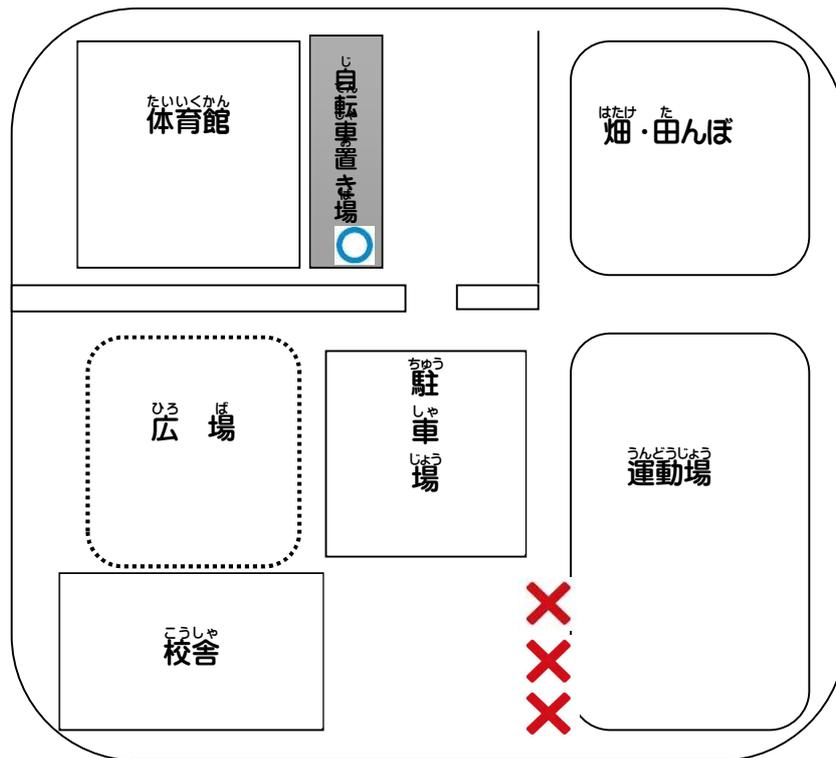
- 上
- 名前が分かる白のトレーニングシャツを着ます。
(半袖・長袖どちらも可)
 - 半袖の場合は、下着が見えないようにします。
 - 移動や準備体操までは、制服の上着やジャンパーを着てもよいです。
 - ゴムのついた赤白帽を着用します。

下

- クォーターパンツを着用します。
- クォーターパンツの下に、スパッツを着用してもよいです。
- 安全のため、タイツを着用している場合は脱いで、靴下に履き替えます。
- トレーニング用長ズボンを着用してもよいです。

6. 校外生活

- きけんな場所(用水・道路・工事現場など)での遊びや火遊びは絶対にしません。
- 一度帰って着替えてから遊びに出ます。
- 誰かの家で遊ぶ場合は、お互い、おうちに人に相談します。
- 遊びに出かけたときは午後5時30分までに帰ります。11月～2月の冬の時期は午後5時までに帰ります。
- 自転車にのる時は、ヘルメットをかぶります。
- 1・2年生は、子どもだけで自転車には乗りません。
- キックボード・ブレイブボード等は道路では使いません。
- 道路には飛び出しません。
- 左右をよく見て、横断歩道をわたります。
- スーパー、コンビニ、本屋などは家の人のおつかい以外で行きません。
- ゲームセンター、カラオケボックスなどは子どもだけで行きません。
- 放課後に、学校敷地内での飲食はしません。
- 子どもだけで校区外へ行きません。
- お金やもの(カードやゲーム内のギフトなど)を「あげたり」「もらったり」は絶対しません。
- 学校に自転車で遊びに来たときは、自転車置き場にとめます。



がくしゅうようぐ 学習用具のきまり

べんきょう しゅうちゅう がくしゅうようぐ
勉強に集中できる学習用具をそろえましょう

□ふで箱：壊れにくく、鉛筆が固定できる『箱型』にしてください。

- ・鉛筆削り等の機能がついていないものがのぞましいです。
- ・デザインが華美でないものをご用意下さい。

箱型の利点として、
・鉛筆の状態を把握しやすい
・取り出しやすい、折れにくい
等が考えられます

ふでばこ



□鉛筆：『無地』で『角型』、『B以上』の濃さのもの

- ・先端部に飾りがついている物や丸型は適しません。
- ・赤青鉛筆を使用します。
- ・キャップは使いません。

□ノート：4月に配布した一冊目に準じた物（マス目を合わせてください）

□消しゴム：『白無地』で『よく消える』物

- ・においつきは適しません。

□定規：ふで箱に入る物（15cm程度）

- ・折り畳み式の物、金属製の物は適しません。



□下敷き：『無地』の物

□のり：『液状』がのぞましい

→スティックのりは、粘着力が弱くはがれやすい。

- ・においつきでないものをご用意下さい。

□はさみ：『切りやすい』物

- ・ペン型の物、折りたたみの物は適しません。

・今持っているものも適しているか確認しましょう。

・全ての持ち物に名前を書きましょう。